昭和49年工業統計調査

㊙ 指定統計第10号

工業調査票甲

（従業者20人以上の事業所用）

市区町村番号	工業調査員事務所番号	工業調査区番号
○	◎	◎

業種	産業	規模	基本調査区番号
※	※	※	○

1 2

この調査票は、調査員に二部提出してください。一部は都道府県に、一部は通商産業省に送付され、それぞれ厳重に保管されます。記入にあたっては、各項目の説明及び裏面の記入注意をよく読んでください。金額は、一万円未満は四捨五入して、万円まで記入してください。

3 4 5

この調査票は、次のような経路をへて通商産業省に提出されます。申告者—（調査員経由）—市区町村—都道府県—通商産業省

この調査票は、課税その他申告者に利害関係を生ずるような目的には使用されません。

◎欄は調査員又は市区町村、○欄は市区町村、◎欄は都道府県、※欄は通商産業省で記入します。

1 事業所の名称及び所在地（ふりがな） （電話　局　番）

都道府県　市区郡　区町村　番地番号

2 本社又は本店の名称及び所在地 （電話　局　番）
1の事業所の名称、所在地と同じ場合は、同上と記入してください。

都道府県　市区郡　区町村　番地番号

3 経営組織
あてはまる番号一つに○をつけてください。
1 会社（株式、有限、合資、合名）
2 組合・その他の法人
3 個人

4 資本金額又は出資金額（会社に限る。）
昭和49年末現在払込みずみの資本の額又は出資の額を記入してください。

5 他事業所の有無
あてはまる番号一つに○をつけてください。
1 工場が一つで、本社はこの工場と同じ場所にある。
2 工場が一つで、本社はこの工場と異なった場所にある。
3 工場が二つ以上ある。

6 従業者数（年末現在）

		男	女	計
常用労働者 1ヵ月を超える期間を定めて雇われている臨時の者と11月、12月のそれぞれの月において18日以上雇われた臨時、日雇の者も含めます。	生産労働者			
	管理、事務、技術労働者			
	計			
個人事業主及び家族従業者　業務に従事している個人事業主とその家族で無報酬で常時就業している者				
合計				

7 常用労働者毎月末現在数の合計　常用労働者（生産労働者と管理、事務、技術労働者）の合計を記入してください。

1月から12月までの合計	

8 現金給与総額（年間）

		金額
常用労働者に対する基本給、諸手当と特別に支払われた給与（期末賞与等）の額	生産労働者	
	管理、事務、技術労働者	
その他の給与額　常用労働者に対する退職金又は解雇予告手当と常用労働者に含まれない臨時、日雇の者に対する給与など		
合計		

9 原材料、燃料、電力の使用額及び委託生産費（年間）

（1）原材料、燃料、電力の使用額には、他から購入したものと同じ企業の他の事業所から受け入れたものなどのうち実際に使用した総使用額を記入してください。（購入額を記入するのではありません。）なお、この事業所の製造品を製造させるために下請工場などに支給したものは含め、他の企業から支給されたものは除いてください。
（2）金額は、消費税抜込みの購入価額によってください。

	金額
原材料使用額　主要原材料、補助材料、購入部分品、容器、包装材料、工場維持用の材料、消耗品など	
燃料使用額　石油、ガス、石炭など（貨物運搬用の燃料を含む。）	
電力使用額　購入電力を含みます。	
委託生産費　原材料又はこの事業所の製品を他に支給して製造、加工を委託（外注）した場合、これに支払った加工賃と支払うべき加工賃	
合計	
10 （8+9）の金額	

11 製造品、原材料、燃料の在庫額及び半製品、仕掛品の価額
（1）事業所の所有するものについて記入してください。
（2）原材料を他に支給して製造させた委託生産品を含め、他から支給された原材料による受託加工品とは入れて、そのまま転売するものは含めないでください。
（3）金額は、帳簿価額によってください。

区分	製造品	原材料及び燃料	半製品及び仕掛品	合計
年初				
年末				

12 有形固定資産
（1）事業所の所有する有形固定資産の年初現在高、取得額、除却額及び減価償却額は、帳簿価額によって記入してください。
（2）取得額には、購入、分段、自家製作、同じ企業に属する他の事業所からの受け入れ、建設仮勘定からの振替えなどによる取得額を記入してください。
（3）除却額には、売却、撤去、滅失、同じ企業に属する他の事業所への引き渡しなどによる除却額を記入してください。
（4）減価償却額には、減価償却費として有形固定資産勘定より控除した金額又は減価償却引当金としてかかげられた金額を記入してください。

イ 年初現在高、取得額、除却額及び減価償却額

	年初現在高	取得額（年間）新規のもの	取得額（年間）中古のもの	除却額（年間）	減価償却額（年間）
建物、構築物（土木設備、構内の鉄道等を含む。）					
機械、装置（付属設備を含む。）					
船舶、車両、運搬具、耐用年数1年以上の工具、器具、備品等					
土地					
合計					

ロ 建設仮勘定の増減
（1）増には、この勘定の借方に加えられた額を、減には、この勘定から他の勘定へ振替えられた額を記入してください。
（2）金額は、帳簿価額によってください。

建設仮勘定の増（年間）	建設仮勘定の減（年間）

13 製造品の出荷額、在庫額等
イ 品目別製造品出荷額
ロ 品目別製造品在庫額
（1）製造品とは、事業所の所有する原材料によって製造された製品をいい、製造品には副産物、製造工程から出たくず、廃物も含めてください。
（2）製造品には、原材料を他に支給して製造させたものを含め、仕入れてそのまま販売するものは含めないでください。
（3）製造品名、賃加工品名、番号、数量単位名などの記入にあたっては、商品分類表を参照してください。なお、製造品の数量は単位未満を四捨五入して記入してください。
（4）同じ企業で他の事業所へ引き渡したものも製造品出荷額に含めてください。
（5）出荷金額は、工場出荷価額により、在庫金額は帳簿価額によってください。

※	番号	製造品名	数量単位名	イ 品目別製造品出荷額（年間）数量	イ 金額	ロ 品目別製造品在庫額（年末現在）数量	ロ 金額
				製造品出荷額計		製造品在庫額計	

ハ 加工賃収入額（年間）　他の企業の所有する原材料又は製品に賃加工して引き渡したものに対して受け取った加工賃と受け取るべき加工賃を記入してください。

※	番号	賃加工品名	金額
		加工賃収入額計	

	金額
ニ 修理料収入額（年間）（修理した品物の名称を記入してください。）880000	
14 （イ、ハ、ニ）の合計金額	
15 内国消費税額（年間）　13イ品目別製造品出荷額の金額に含まれている物品税、酒税、トランプ類税、揮発油税、特別地方消費税の税額の合計	
16 （14－15）の金額	

17 主要原材料名
購入したもの（同じ企業の他の事業所から受け入れたものも含めてください。）

他から支給されたもの

18 作業工程　13製造品の出荷額、在庫額などに記入した製造品の製造又は加工に関する、この事業所の作業工程のあらましを記入してください。

この欄の19項は従業者29人以下の事業所は記入する必要がありません。

19 工業用地及び工業用水
（1）事業所敷地面積には、事業所で使用（賃借を含む。）している敷地の全面積を記入してください。
（2）事業所の建築面積には、事業所敷地内にあるすべての建築物の面積の合計を記入してください。
（3）取得面積には、工業用地として昭和49年中に買入契約を締結したもののすべてを記入してください。なお、地目は契約時の地目によって区分してください。
（4）取得価額には、取得面積に対応する契約時の総取得価額を記入してください。
（5）取得した用地の所在する都道府県名には、どこの都道府県で取得したかその都道府県名を記入してください。なお、用地の取得が2以上の都道府県で行なわれた場合は、もっとも広い用地を取得した都道府県名1つを記入してください。
（6）1坪は、3.3平方メートルに換算し、1平方メートル未満は四捨五入して記入してください。
（7）工業用水とは、事業所内で工業生産のために使用される用水（従業員の飲料水、雑用水も含みます。ただし、動力として使用される水は除きます。）をいいます。
（8）1日当りの用水量は、昭和49年1月1日から12月31日までの1年間に、この事業所で使用した工業用水の総量を操業日数で除したものです。1立方メートル未満は四捨五入してください。
（9）工業用水の使用量が不明の場合には、例えば、ポンプなどの能力、運転時間、放出量などによって推定量を記入してください。
（10）ハの項の「8淡水（1～7）の合計」とニの項の「1淡水」の「7合計」とが一致します。また、ハの項の「9海水」とニの項の「2海水」の「7合計」とが一致します。

イ 事業所敷地面積及び建築面積（年末現在）（単位平方メートル）

区分	百万	十万	万	千	百	十	一
1 敷地面積							
2 建築面積							
3 延べ建築面積							

ロ 用地の取得（年間）

Ⅰ 取得した用地の地目別面積及び価額（年間）	面積（単位平方メートル）	金額
1 田畑		
2 宅地（工場敷地を含む。）		
3 山林、原野		
4 埋立地（埋立予定地を含む。）		
5 その他（池沼、河川敷、その他）		
6 合計		
Ⅱ 取得した用地の所在する都道府県名	※	

ハ 1日当り水源別用水量（単位立方メートル）

区分		百万	十万	万	千	百	十	一
公共水道	1 工業用水道							
	2 上水道							
3 地表水								
4 伏流水								
5 井戸水								
6 その他								
7 回収水								
8 淡水（1～7）の合計								
9 海水								

ニ 1日当り用途別用水量（単位立方メートル）

区分	1 淡水	2 海水
1 ボイラー用水		
2 原料用水		
3 製品処理用水と洗じょう用水		
4 冷却用水		
5 温調用水		
6 その他（飲料水、雑用水を含む。）		
7 合計		

備考

◎イ	※ロ	調査員押印		本票について照会をうけた場合、回答できる者の職氏名		申告者の記名と押印	㊞

通商産業省

Sample